

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 守谷市

### ●地域における現状・課題

週3日の5時間授業日（アーリーデー）に部活動を実施して、活動時間の確保と生徒の早期下校（16:50※教員の退勤時刻に近付ける）を両立したり、部活動も授業同様に50分単位とし、週7コマ（月2・火1・水2・金2）の活動内容を効率化・定型化により外部指導者との連携を図れる体制にしているが、専門でない分野の部活の顧問を任されてストレスを抱える教員や教員の半数が部活動に負担を感じているとの調査結果もあり、計画的に地域移行を進める必要がある。

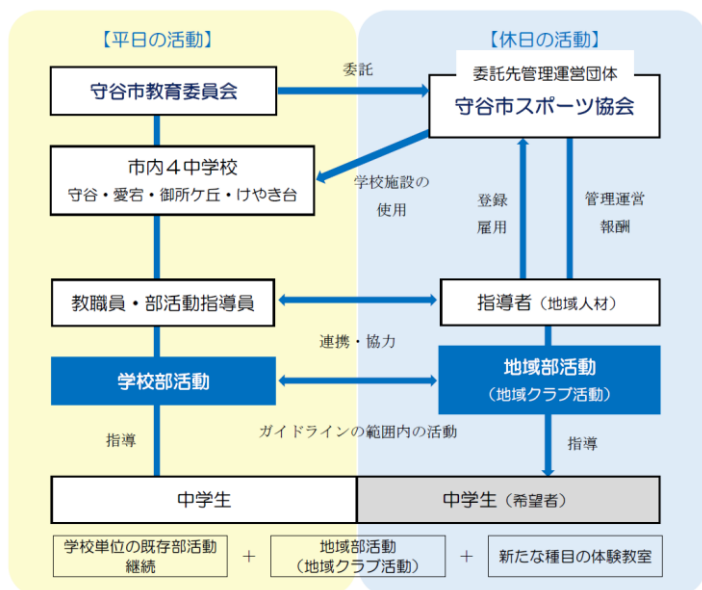
### ●取組事項の概要

- ・一般社団法人守谷市スポーツ協会に管理運営を委託し、休日の部活指導を地域人材に委ねた。
- ・生徒が主役のスポーツ・文化活動の場として、新たな種目を体験する機会を提供した。
- ・学校長、保護者、地域スポーツクラブ、芸術・文化団体、市職員等による運営協議会を設置し、情報共有・連絡調整を行い、緊密に連携する体制を整備した。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・暫定的に学校の既存部活動単位で地域クラブ活動としているため、スピーディーに移行が進み12クラブまで移行することができた。
- ・直営ではなく、民間への業務委託で実施したことから、積極的な営業活動により指導者の登録や新たな種目の体験教室等が順調に進んでいる。
- ・地域クラブ活動を学校施設で実施するに当たり、職員室等の機械警備をかけたまま、保健室が使えるよう機械警備の系統分けの工事を行った。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
- (2) 運営主体：一般社団法人守谷市スポーツ協会
- (3) 種目：ソフトテニス男女、卓球女子、バドミントン男女、ハンドボール男女、バスケットボール女子、サッカー、柔道
- (4) 指導者の主な属性：会社員、教職員、自営業、学生
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：各中学校体育施設
- (7) 主な移動手段：自転車、徒歩、保護者による送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：徴収なし
- (7) 1人あたりの保険料：徴収なし

# 【守谷市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

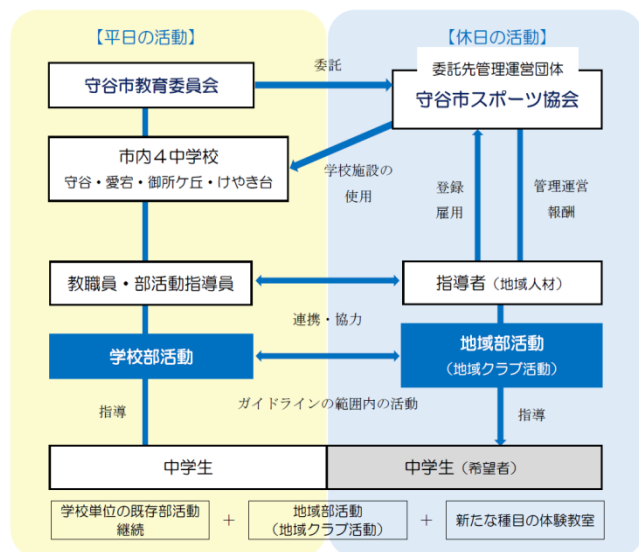
本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。



## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（生涯学習課）**  
運営方針・推進計画・ガイドライン策定、委託先管理運営団体の管理監督、運営協議会の設置
- **首長部局（市民協働推進課）**  
公共施設の貸出し

### 年間の事業スケジュール

- ・4月 第1回検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認）、拠点校における実施準備
- ・5月 地域指導者向け研修会①の実施、地域スポーツクラブ活動の活動開始（愛宕中）
- ・6月 保護者アンケートの実施、地域スポーツクラブ活動の活動開始（けやき台中、御所ヶ丘中、守谷中）
- ・7月 第2回検討会議の開催（進捗状況の報告等）
- ・8月 関係団体ヒアリング（部活動改革、地域スポーツの今後について）
- ・9月 地域指導者向け研修会②の実施
- ・10月 交流イベントの実施、部活動改革に係る事例検討会の開催（各学校）
- ・11月 第3回検討会議の開催（中間まとめ、検討事項の洗い出し）
- ・12月 地域指導者向け研修会②の実施
- ・1月 拠点校・保護者等へのアンケート調査実施
- ・2月 第4回検討会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）
- ・3月 事業完了報告書・成果報告書等の作成

※その他アンケート調査、ヒアリング調査を随時実施

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

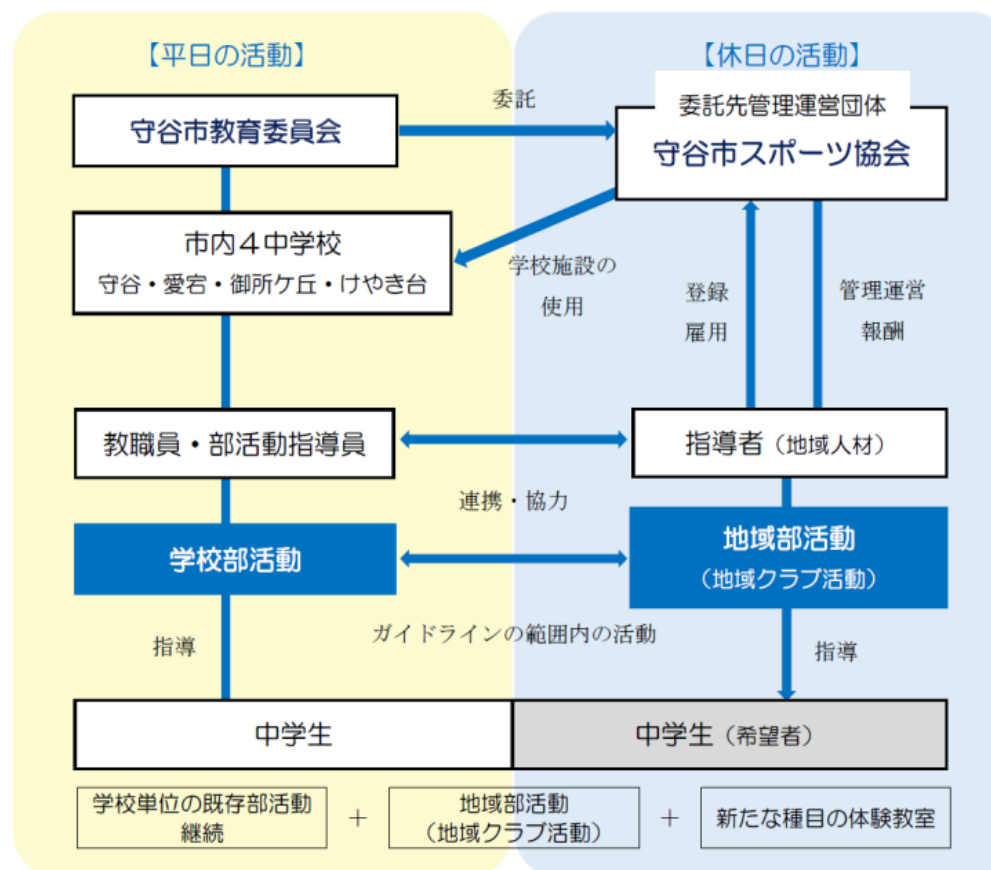
拠点校数	4校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	男子卓球、女子卓球、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、男子バドミントン、女子バドミントン、サッカー、男子ハンドボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	8部活		

### 主な取組例 ※注1

#### ▼活動概要

拠点校名	守谷市立愛宕中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	8部活
地域クラブ活動で実施した種目	男子卓球、女子卓球、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、男子バドミントン、女子バドミントン、男子サッカー、男子ハンドボール
運営主体名	一般社団法人守谷市スポーツ協会
運営類型 ※注2	地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
1か月あたりの平均的な活動回数	月4～5回程度月
指導者の主な属性	会社員、事営業、学生
活動場所	学校体育施設
主な移動手段	自転車、徒歩及び保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額） ※注3	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 ※移行期間中は徴収なし 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

統括コーディネーターを配置し、市との連絡調整、活動計画及び報告書の作成、提出、学校との連絡調整、試合等への参加にかかる調整、活動中の事故やけがへの対応及び報告、参加生徒の保護者への連絡調整、学校施設及び物品の使用管理、運営スタッフのとりまとめ、現状顧問への現状調査及びヒアリング、特別教室実施における学校との調整・運営を行う。

##### 取組の成果

- ・地域移行することに対し、各部活動単位で保護者説明会を実施することで、不安を解消できた。
- ・学校施設及び物品の使用等については、学校長および顧問と十分に協議を重ね、平日の部活動と同じように使用できるようになった。
- ・顧問と地域指導者、保護者との連絡体制を整備した。(情報共有)

##### 3-2. 校内活動について

・校内で部活動を実施する場合、現在と同様に子どもは集合時間までに活動場所に集合してください。

・活動時間は、平日のルールを含め、以下の通りです。

平日 1日50分×2セット=100分 + 土日祝日 1日3時間まで = 1.1時間を超えてはならない。

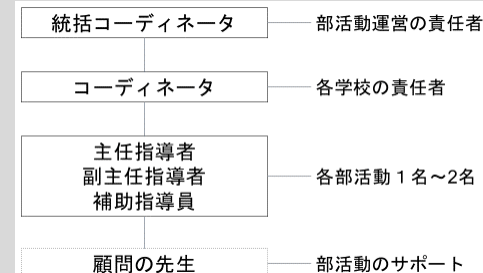
・各部活動、指導者は1名もしくは2名体制で行います。  
※移行期間中は顧問の先生も参加する場合があります。

・持ち物は水筒、タオル、各部活動に必要な道具となります。

・活動終了後は子どもが安全に帰宅できるように、指導者が指導を行います。

##### 特に工夫した事項

- ・各部活動のスケジュールや出欠報告、アンケート等については、各クラブ活動専用Googleフォームを作成し、保護者との連絡をスムーズに行えるようにした。
- ・各学校にコーディネーターを配置し、休日のクラブ活動時に事前の出欠報告と当日の出欠状況を照合し、参加予定となっていて欠席の場合、現場から保護者への連絡が直ぐにできる体制や練習中のケガ等の対応等、保護者への連絡体制を整えた。



##### 今後の課題と対応方針

- ・保護者間との連絡について、今後、地域移行する部活動においても同様に活用する予定である。



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保証・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

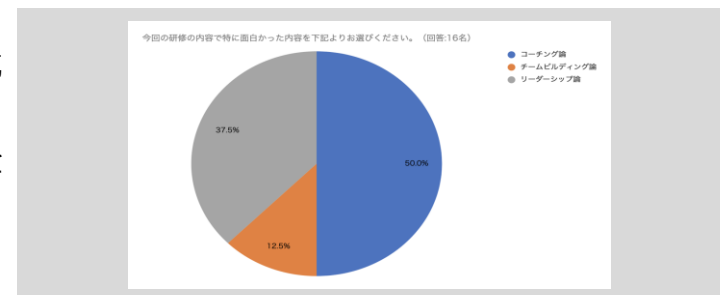
#### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

##### 取組事項

- ・指導者として最低限必要な知識と技能を習得し、安全で効果的な活動を行うことのできる指導者を養成する。
- ・指導者の人材募集サイトを作成し、募集する。応募があった指導者に対して、面談、研修を行い、適正な人材であるかを審査する。
- ・指導者がスムーズに現場で指導できるように現行顧問との調整を行う。

##### 取組の成果

- ・指導者としての最低限の必要な知識と技能を取得してもらうために、指導者養成講習会を実施し、受講した参加者に対して修了証を発行し、アンケートを実施した。
- ・県スポーツ人材バンクを活用し、来年度以降に地域指導者として勤務できる方を確保した。



##### 特に工夫した事項

- ・県スポーツ人材バンクの取り組みもあり、その制度を活用し、地域指導者の確保に努めた。
- ・地域指導者だけでなく、スポーツ少年団指導者や部活動指導員等を対象に、指導者養成講習会を実施した。
- ・夏場における活動に向けて、民間企業で実施している「熱中症対策講座（オンライン）」の受講を案内した。



##### 今後の課題と対応方針

- ・引き続き、県人材バンクを活用し、指導者の確保に努める。
- ・民間スポーツクラブにも協力を仰ぎ、指導者の確保に努める。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保証・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

スポーツ協会、スポーツ少年団、クラブチーム、民間事業者、文化協会など多様な実施主体が、社会体育・教育施設や文化施設を活用して、多様な活動に親しむ機会を確保する。

#### 取組の成果

・新たな活動機会や体験機会の創出を行うために、ダンス教室、ソフトテニス講習会、硬式テニス体験会、ハンドボール講習会、サッカー講習会、卓球講習会を実施した。

今回の体験会で良かったと思う点を教えてください。

回答の一部抜粋	
学校より専門的に詳しく教わられてよかった	
硬式テニスで教えてもらったコーチで安心して楽しくソフトテニスを学ぶ事ができました。中学校でソフトテニス部に入りたいう気持ちになりました。	
初めてのソフトテニスだったので、ラケットの持ち方や構え方や打ち方、硬式テニスとの違い等をコーチから丁寧に指導されたので、とても充実した講習会でした。また、講習会の時間も含めて、ウォーミングアップから試合打ちまでいろいろなことを体験することができたので、とても満足しています。	
他校の先輩と打てた	
様々な中学生と練習ができて、刺激的だった。	
部活では教えてもらえないことを教えてもらえた。	
応用練習ができたこと、自分より上手な人と一緒に練習できたこと	
教えて頂けるコーチも面白くて、テニスの楽しさを知れた	

#### 特に工夫した事項

・ソフトテニス、硬式テニス体験会に関しては、民間スポーツクラブおよび指導者の協力を得て、開催することができた。  
 ・サッカー講習会、ハンドボール講習会に関しては、クラブチームの選手やプロ選手が講師となって、実践的な動きなどを身近に体感することができた。

〈質問⑤〉  
 今後、継続してクラブやスクールとして運営をする場合、参加費を徴収しての運営が必要となりますが、有料でも参加したいと思いませんか？教えてください。

選択肢	回答数	割合
参加したい	17	54.8%
参加は難しい	3	9.7%
その他	11	35.5%

〈その他回答〉

回答の一部抜粋	
参加したいが、価格次第	
部活とその他の習い事の時間等をみて判断したい	
価格によっては参加したい	

#### 今後の課題と対応方針

・現在、活動している運動部活動の体験会、講習会を実施したが、参加者や保護者から好評であったため、現在は市内参加者は無料としているが、有料化を視野に入れ、今後もクラブ化を目標に継続実施していく。



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保証・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取り組み**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

##### 取組事項

指導者については守谷市内にこだわらず、県内、近県から確保ができるよう調整するとともに、県南西エリアの連携組織を生かし、情報共有を図っていく。  
 スポーツの体験会や講習会について、広域的に参加者を募る企画とした。

##### 取組の成果

- ・県スポーツ人材バンクを活用し、来年度以降に地域指導者として指導できる方を確保した。
- ・有名選手やプロ選手を講師として開催したスハンドボールの体験会や講習会について、市外者の参加が多くあった。

報告1：地域部活動進捗状況(2)－ハンドボール  
 【開催日】  
 2023年10月22日(日)・10月29日(日)・11月3日(金/祝)・12月3日(日)の4日間

開催場所	実施校		開催者数	県内参加者	県外参加者
10/22(日)	17:30～19:00	中野1年生～2年生(男女)	28人 (男子：26人、女子：2人)	14人	14人
	19:15～20:45	中野1年生～2年生(男子)	30人	16人	14人
10/29(日)	17:30～19:00	中野1年生～2年生(男女)	27人 (男子：25人、女子：2人)	20人	7人
	19:15～20:45	中野1年生～2年生(男子)	42人	24人	18人
11/3(金/祝)	17:30～19:00	中野1年生～2年生(男女)	19人 (男子：9人、女子：10人)	16人	3人
	19:15～20:45	中野1年生～2年生(男子)	29人	15人	14人
12/3(日)	17:30～19:00	中野1年生～2年生(男女)	17人 (男子：6人、女子：11人)	11人	6人
	19:15～20:45	中野1年生～2年生(男子)	32人	21人	11人

##### 特に工夫した事項

- ・県スポーツ人材バンクの取り組みもあり、その制度を活用し、地域指導者の確保に努めた。
- ・スポーツの体験会や講習会について、市外参加者については有料とした。

報告1：地域部活動進捗状況(4)－ハンドボール

【学校別参加者】※実数	10/22	10/29	11/3	12/3	合計
守谷市立けやき台中学校	3人	14人	6人	7人	30人
守谷市立新所ヶ丘中学校	6人	11人	8人	11人	36人
守谷市立豊岩中学校	8人	10人	8人	7人	33人
つくば市立年代木中学校	13人	14人	13人	11人	51人
かすみがうら市立下福高中学校	1人	-	-	3人	4人
つくば市立豊崎中学校	1人	1人	1人	1人	4人
常総市立水海道中学校	1人	1人	-	-	2人
水海道第一高等学校附属中学校	1人	3人	1人	1人	6人
常総市立水海道西中学校	-	3人	-	-	3人
成東市立若井中学校	-	-	1人	1人	2人
さいたま市立田島中学校	-	-	1人	-	1人

##### 今後の課題と対応方針

- ・引き続き、県人材バンクを活用し、指導者の確保に努める。
- ・民間スポーツクラブにも協力を仰ぎ、指導者の確保に努める。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保証・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：オ：内容の充実

##### 取組事項

学校施設等のシフト管理を徹底し、空きスペースにて新たな種目のクラブ活動や体験教室を実施する等、生徒・保護者のニーズに沿った活動の機会を創出する。

##### 取組の成果

・令和4年1月に県南西エリア共通でアンケート調査を実施し、小学生高学年や中学生に対して、やってみたいスポーツ等のアンケートを結果に沿った要望のあるスポーツを体験できる機会を創出した。

【参考】アンケート結果 令和4年1月実施

中学生にならばじめたいと思っている運動やスポーツはどのような種目ですか、あてはまるものを選んでください。  
 「バドミントン」の割合が7.8%と最も高く、次いで「文化部活動」の割合が15.6%、「テニス」の割合が15.1%となっています。【守谷市は、「テニス」の割合が21.3%と最も高くなっています】

種目	小学生	小学生高学年	中学生	小学生	小学生高学年	中学生	小学生	小学生高学年	中学生	小学生	小学生高学年	中学生
バドミントン	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
サッカー	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
野球	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
バスケットボール	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
テニス	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
卓球	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
水泳	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12
その他	107	17	12	107	12	9	107	17	12	107	17	12

##### 特に工夫した事項

- ・学校体育施設の使用が難しい場合は、民間スポーツクラブの施設や近隣高校の体育施設及び私立小学校の体育館を借用し実施した。
- 借用した学校以外の施設
- ・損保ジャパン総合研修センター
- ・ゴールドジムジョイフルアスレチッククラブ
- ・県立守谷高等学校
- ・開智望小学校

報告事項1：地域部活動進捗状況(2)ー 体験会 ソフトテニス・硬式テニス

【開催日】  
 令和6年1月15日(月)・1月22日(月)・1月29日(月)

【開催場所】  
 ゴールドジム守谷茨城ジョイフルアスレチッククラブ テニスコート

【開催時間および参加人数】

日付	時間	種目	対象者	参加者	市内在住者	市外参加者
1/15(月)	16:30~17:45	ソフトテニス	小学4年生~6年生(男女)	24人	14人	0人
	中学1年生~3年生(男女)		21人	21人	0人	
1/22(月)	16:30~17:45	硬式テニス	小学4年生~6年生(男女)	6人	6人	0人
	中学1年生~3年生(男女)		6人	6人	0人	
1/29(月)	16:30~17:45	ソフトテニス	小学4年生~6年生(男女)	16人	16人	0人
	中学1年生~3年生(男女)		15人	15人	0人	

##### 今後の課題と対応方針

・前回の調査から3年が経過することから、引き続き児童、生徒、保護者のニーズ調査を行い、出来る限りニーズに沿う種目において、体験会や講習会を実施し、クラブ化を目指していく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、指導者や参加する生徒等に対して、自身の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険に加入するよう促す。（移行期間の令和5年度～令和7年度は運営主体で負担）

##### 取組の成果

- ・地域移行期間中においては、活動参加費及び活動に係る傷害保険（スポーツ安全保険）については、運営主体で負担。
- ・練習試合や大会参加に係る遠征費（バス代等）は、受益者負担。

##### (7) 活動にかかる費用負担の検討

- ア 地域移行期における、休日の通常練習にかかる費用（指導者謝金等）、傷害保険料等は市の負担とする。ただし、練習試合等で発生する費用（交通費、相手への差入等）は実費負担となる。
- ※ 地域移行期後は、参加希望者のみの会員制として、会員には運営に要する経費の一部（会費・活動費）を負担していただくことが想定される。負担額については、国や県の支援（補助）などを踏まえながら検討する。
- イ 地域クラブ活動に参加する場合の費用が、生徒が地域クラブ活動に参加することの妨げにならないよう、移行期内に、経済的に困窮する家庭の生徒の参加費用の支援等に関する検討を進める。
- ウ 地域クラブ活動の運営団体が、地元の企業等の協力を得て、企業等が有する施設の利用や設備・用具・楽器の寄附や貸与等の支援を受けられる体制の整備や、家庭の参加費用の負担軽減に資する取組を推進する。
- ※ 企業からの寄附等を活用した基金の創設や、企業版ふるさと納税の活用等も考えられる。

##### 特に工夫した事項

・現在は学校部活動と並行して実施しているため、地域クラブ分において追加で受益者負担を求めることは難しく、参加費や保険料は実施主体が負担し、参加費等についてアンケート調査を実施している。また、競技用具等については学校の承諾を得て、学校部活動と共有させてもらっているため、生徒、保護者にとっては休日は学校部活動の延長のような感覚でストレスなく活動ができています。

《質問2》  
有償化した場合、1レッスンあたりの参加しやすい金額を教えてください。（1レッスン＝60分）

運用額	回答数
500円～999円	2
1,000円～1,499円	13
1,500円～1,999円	6
2,000円～2,499円	2
2,500円～2,999円	0
3,000円～3,499円	3
3,500円以上	1
その他	4

スクールレッスンではなく、部活の費財となるのであれば、低料金でお願いしたいです。

##### 今後の課題と対応方針

- ・移行期間においては、運営主体団体が費用負担することとしているが、移行期間終了後には、参加希望者のみの会員制として、会員には運営に要する経費を負担してもらうことが想定される。負担額については、国や県の支援（補助）などを検討する。
- ・自己負担になると、経済的に困窮する家庭の支援等の検討も必要となる。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：**学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

地域クラブ活動を行う団体等に対して、学校施設を優先して開放するなど、負担軽減や利用しやすい環境づくりを行う。

##### 取組の成果

・通常の休日のクラブ活動の他、体験教室、講習会についても、学校体育施設を教育委員会を通じ、学校長に借用依頼を優先的に使用している。

##### 議題2：アンケート集計結果から見る課題②

〈生徒のアンケート(生徒Q3)(生徒Q6)〉  
・活動時間の少なさ  
生徒からのアンケートより技術、楽しさの向上に続き「活動時間が少ない(休日だけでは足りない)(26.4%)」(生徒Q3回答)を課題に思っており、「活動時間が増えること」(生徒Q6回答)を期待している生徒が多かった。

【協議事項】  
上記回答より、平日含め、活動時間を増やすために学校管理である時間帯の施設を有効活用したい。特に土曜日、日曜、祝日を希望。  
(現在部活動がお休みである木曜日の15時～18時の時間の施設利用を申請中)

##### 特に工夫した事項

・休日の学校体育施設は、他の部活動も活動している場合もあるため、近隣の高校の体育館や私立小学校の体育館を借用し開催した。  
・平日の部活動休養日において、クラブ活動とは別に、生徒のニーズに合わせて新たな種目の体験会やトレーニングの講習会等の開催ができるよう、放課後の時間帯を借用が出来るように調整を行った。  
・体験会、講習会は、自身の意思による自由参加を大前提としたこと。

##### 議題2：アンケート集計結果から見る課題③

※協議事項の問題点  
①参加したくない生徒もいる。保護者も同様。部活動に対する温度感の違いより、疎外感など感じることがないよう「自由参加」を前提に、時間を増やしたい生徒及び保護者の理解が最初に必要となる。

②部活動地域移行の中での部活動活動時間の創設については、「各種目、守谷市全体に平等な機会の創出」を前提としているが、中には守谷市内で他校をライバルとして見ているため、学校別かつ種目別による生徒の活動機会の創出を希望しているところが多い。このあたりの考え方の誤差をどう埋めていくのがポイントだと考えます。

##### 今後の課題と対応方針

・現在、学校体育施設は、社会体育事業の一環で貸出しを行っているが、市民で構成されたスポーツサークル団体やスポーツ少年団が定期的に1週間フルに使用している状況である。  
・今後は、スポーツサークル団体やスポーツ少年団の活動時間について、検討する必要がある。

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

#### 議題2：部活動活動管理表の説明

2023年 女子テニス部 活動計画表

7月	予定 (目標達成率90%以上を目標とする)				実績 (目標達成率90%以上を目標とする)				7月の活動内容	
	日	活動内容	実施時間	備考	日	活動内容	実施時間	備考	実施時間	備考
1	土	練習	テニスコート：2課		12:00	13:00	12:00	13:00	12:00	13:00
2	日	休み								
3	月	休み		委員会						
4	火	練習	テニスコート：2課		16:45	18:00	16:45	18:00	1:15	
5	水	練習	テニスコート：2課		15:00	17:15	15:00	17:15	2:15	
6	木	大会	その他：運動場：1課	市民運動会テニスコート	7:00	9:45	7:00	9:45	2:45	
7	金	練習	テニスコート：2課							
8	土	練習	テニスコート：2課		12:00	13:00	12:00	13:00	1:00	12:00-13:00
9	日	休み								
10	月	休み								
11	火	練習	テニスコート：2課		12:45	13:45	12:45	13:45	1:00	
12	水	練習	テニスコート：2課		12:00	13:45	12:00	13:45	1:45	
13	木	休み								
14	金	練習	テニスコート：2課		15:00	16:45	15:00	16:45	1:45	
15	土	練習	テニスコート：2課		12:00	13:00	12:00	13:00	1:00	12:00-13:00
16	日	休み								
17	月	休み								
18	火	練習	テニスコート：2課		16:45	18:00	16:45	18:00	1:15	
19	水	練習	テニスコート：2課		15:00	16:45	15:00	16:45	1:45	
20	木	休み								

8

#### 議題2：アンケート集計結果から見る課題②

〈生徒のアンケート(生徒Q3)(生徒Q6)〉

##### ・活動時間の少なさ

生徒からのアンケートより技術、楽しさの向上に続き「活動時間が少ない(休日だけでは足りない)(26.4%)」(生徒Q3回答)を課題に思っており、「活動時間が増えること」(生徒Q6回答)を期待している生徒が多かった。

#### 議題2：アンケート集計結果から見る課題④

〈保護者のアンケート(保護者Q5)(保護者Q7)〉

##### ・保護者とのコミュニケーション不足

保護者からのアンケートより、「活動内容が耳にはいってこない」(保護者Q5回答)、「地域部活動が子供から楽しいとは聞いていますが、具体的にどのような内容なのかまでは、よくわかっておりません。どのような練習をしているか、活動をしているか、もっと知る機会があると、嬉しいです。」(保護者Q7回答)と回答があった。

##### 【協議事項】

上記回答より、部活動において保護者が部活動を知る機会を増やす必要あり。今後どのように地域部活動を知ってもらう機会を増やせばよいか、検討が必要。(例えば部活動地域移行保護者見学会を開催する等)

#### 議題2：アンケート集計結果から見る課題⑦

〈全体アンケートを通して〉

##### ・コミュニケーション不足

アンケート結果より、全ての対象者(生徒、保護者、顧問、指導者)がコミュニケーションに不安を抱えている。  
上記課題を解決するために、取り急ぎ以下の対応をした。

##### ◇指導者用携帯電話の購入および使用

指導者が直接保護者と連絡できるように携帯電話を各指導者に持たせた。(2023年11月より各自携帯保有)

今後、緊急時対応も含めた連絡体制を構築したい。  
下記のツールの導入を検討したい。

##### ①Google Classroomの導入

各中学校で使用しているGoogle Classroomを i s c (同)のポータルサイトで作成導入(後項-議題5)し、休日の地域部活動用の連絡体制を構築する。

#### 報告2：地域クラブ活動に関する意向調査(2)

下記より質問項目と集計結果(個人情報もあるため、氏名については非公開)

##### 〈質問①〉

現在、休日は学校部活動から地域クラブ活動へ移行中です。

つきましては令和6年4月以降の学校部活動および地域クラブ活動へのあなたの考えに当てはまるものを下記より選択してください。選択肢にない場合はその他に記述してください。

選択肢	回答数	割合
地域クラブ活動のメイン指導者として加わりたい	17	15.2%
地域クラブ活動のサブおよび補助指導者として加わりたい	7	6.3%
平日の学校部活動のみ加わりたい	12	10.7%
地域クラブ活動の指導や活動現場には携わらず、お金の管理、大会申込、保護者連絡などの事務作業だけ加わりたい	1	0.9%
平日の学校部活動も含めて地域クラブにお聴きたい	52	46.4%
分からない	13	11.6%
その他	10	8.9%

※その他の回答の詳細については次ページより。

12

【キャプション】

【キャプション】



## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（活動写真）



トップ選手を講師に招き、希望者を募って実施したハンドボール講習会



新たな種目の創出として実施したダンス体験教室



指導者研修の一環で実施した救命救急講習会



クラブチームの選手によるサッカー講習会

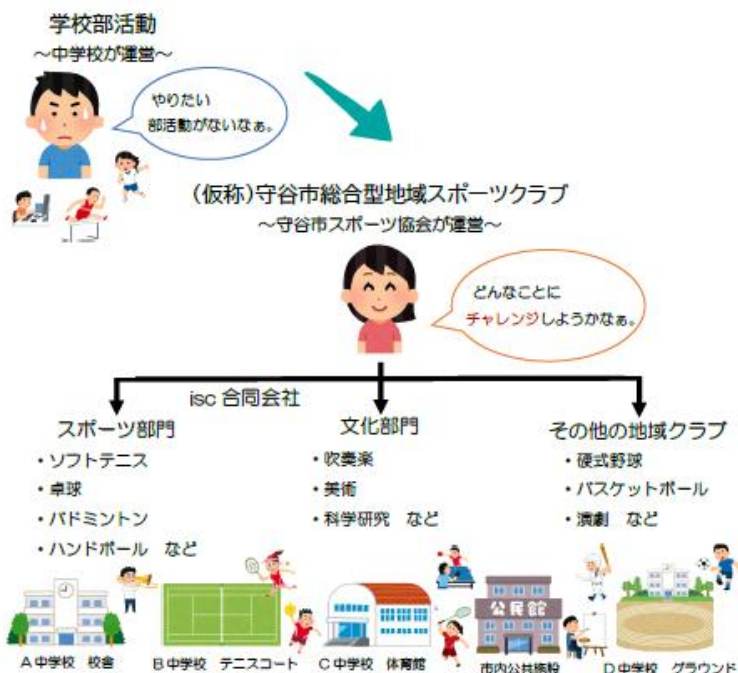


## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- 教育委員会や学校、地域スポーツ団体等を構成員として地域移行に関する検討・モデル事業をスタート。（愛宕中学校にて、男子卓球部、男子ソフトテニス部、吹奏楽部をモデルとして実施）
- 地域移行に伴う教員のかかわり方に関する意向調査を実施。（約 2 割の教員が兼職兼業希望）
- 生徒、保護者を対象としたニーズ調査を実施
- 地域移行推進プラン、活動ガイドラインの策定



- 地域クラブ活動（休日の学校部活動への指導者配置）スタート
- R5年度 12部活動 ・R6年度 20部活動 ・R7年度 30部活動程度を想定
- 教育委員会、各中学校長、PTA代表、守谷市スポーツ協会、守谷市文化協会、民間事業者を構成員として地域部活動運営協議会を設置し、具体的な運営内容について本格的に協議を開始。（年 4 回開催）
- 生徒、保護者を対象としたニーズ調査の結果等をもとに、新たな体験活動の創出として、新規種目を含む数種目の体験会、講習会を実施。  
（新）ダンス、硬式テニス  
（既存）ハンドボール、ソフトテニス、卓球、サッカー

- うまくいった点
  - ・新たな体験活動の創出として実施した、体験会、講習会が好評であったため、今後も種目を拡大しながら継続し、最終的にクラブ活動として実施できるように調整をしていく。
- うまくいかなかった点
  - ・学校教員の兼職兼業より先に地域指導者を優先的に配置し、休日部活動を地域クラブ活動としてスタートしていたところ、人事異動により休日もやる気のある学校顧問が配属となり、休日の現場で地域主導で行うことが困難となり、休日の運営を一旦地域主導から学校主導に戻すことになった部活動があった。
- 今後実施していくこと
  - ・学校部活動と完全に切り離して受益者負担とした場合のクラブ運営の支援に関すること
  - ・生活困窮世帯への支援に関すること

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

#### 守谷市・守谷市教育委員会 部活動地域移行スケジュール

